

奈良県広域消防組合 通信指令センター部分運用について

奈良県広域消防組合では、119番通報等を受け付ける「通信指令センター」整備工事を進めていて、平成28年4月1日から運用を始めます。

運用開始に先立ち、現在14カ所の消防署等で119番通報を受信している119番回線を、通信指令センターに切替える工事を行います。

大和郡山市の119番回線切替え日は、平成28年1月20日(水)の予定です。

工事が完了した時点から通信指令センターで119番通報の受付を始めます。119番回線切替え後は、通信指令センターにつながりますのでご理解をお願いします。

◆部分運用の開始にともない「FAX119通報装置」のFAX番号が変わります。

聴覚・言語障がい者が利用されるFAX119通報装置のFAX番号は、局番なしの「119」になります。

切り替え時間は、平成28年1月20日(水)20時からです(通報用紙は、従来の用紙を利用してください)。

問合せ＝奈良県広域消防組合 大和郡山消防署(☎59-1191)

画像情報で自社のPRを！ ～ハローワークからのお知らせ～

ハローワークでは、仕事を探している人に、求人票だけでは伝えきれない「自社製品」「工場・職場の様子」などの静止画像も見てもらい、探していただけるようになっています。この機会に「わが社もPRを」という場合は、ぜひご利用ください。

※取り込める画像の容量や枚数には一定の制限があります。詳しくは下記へ。

詳細・問合せ＝ハローワーク大和郡山(☎52-4355)
(地域振興課)

広告欄

■くらしのインフォメーション■

ひとりで悩まないで

わたしたちに
ご相談ください！



高齢者を
消費者被害から守る

大和郡山市消費者センター
☎53-1583(直通)
相談受付 月～金曜日
10時～12時、13時～16時

消費者センターに寄せられる相談の約半数は、契約者が60歳以上の人の相談です。ここ数年、振り込み詐欺や悪質商法で、高齢者の財産が狙われる事件が多発しています。それ以外にも、認知症などで判断力が低下した高齢者が、次々に高額な買い物を繰り返し、財産をすべて使い果たすという事例もあります。今まで年金で普通の暮らしができていたのに、生活費に困り果て、親族にお金を借りて来たことから初めて被害が発覚するケースもあります。

- ・投資詐欺で、二次被害も含め全財産4,000万円を支払い、遠方に住む息子にお金を借りに行った
- ・何度も床下工事を繰り返され、2,000万円の被害
- ・認知症で判断力が低下していたことが原因で、2年間で総額3,000万円の着物を購入していた

これらは実際に消費者センターに寄せられた相談です。高齢者をこのような被害から守るにはどうしたらよいのでしょうか？

それは私たちひとりひとりが、周り的高齢者に気を配り、**見守る**ことから始まります。ふだんから両親や親族、また地域の高齢者同士などでコミュニケーションをとり、変化に**気づく**ことです。

- ☑ 頻繁に工事を繰り返している家がある
- ☑ いつも見慣れぬ車が止まり、セールスマンが頻繁に出入りしている
- ☑ 自宅に同じような商品が大量にある
- ☑ お金に困っている様子が見受けられる
- ☑ なんだか元気がない

このような様子があれば、勇気を出して「何かありましたか」「困っていることはありませんか」とやさしく声をかける、あるいは地域の民生委員や福祉関係者、消費者センターなどに**つなげる**ことが大切です。判断力の低下がみられる場合には、金銭管理の援助や成年後見制度を利用することも必要です。地域全体の力で高齢者を見守っていくことが重要です。

◆すこやか100万歩達成者よりひとこと

「目標があるので頑張れます。1年に300万歩目指したい。」(70代男性)(保健センター)